

優しさと親切に包まれて

日吉小学校 六年

私は、病気になってしまい長い間、楽しかった学校に通えなくなりました。通えない間は、先生や友達にも会えず、テレビやゲームも楽しくなくて、さびしくつらい毎日を送っていました。

そして、少し体調が落ち着いてきた時、先生がオンライン授業を提案してくれました。画面越しに、友達が手をふってくれるだけで、とてもうれしかったです。でも、やっぱり学校に通って、先生や友達と話したり、遊びたい気持ちが強くなって、ますます学校に行きたくなりました。

そんな時、先生が少しずつ短時間から学校に、来てみないかと言ってくれました。私は、まだまだ学校に行くことができないと、思っていたので、先生の言葉がとてもうれしかったです。

久しぶりに学校に行った日は、とてもきん張しました。でも、みんな今まで通り接してくれて、きん張もだんだんほぐれてきました。いろいろ聞かずいつも通り、接してくれる優しさがうれしか

ったです。

私は、病気になって学校に行けなくなって、つらく、とても悲しかったけれど、その経験をしたことで学校に通える、幸せを感じました。そして、お母さんから、

「学校に行き始めて、笑顔が増えたね。」

と言われました。私自身も、学校に行き始めて毎日が、楽しくなって心も体も、元気になってきたように感じました。

そして、あきらめていた修学旅行も、先生や、友達のサポートのおかげで、参加することができ、とても楽しい思い出ができました。

私が、学校にふつうに通えるようになったのも、修学旅行に行くことができたのも、先生や、友達の優しさや、親切な気持ちがたくさんあったからです。人は悲しい時や苦しい時ほど、人の優しさや、親切がうれしく感じると思います。みんなと同じようには、出さない私を先生や、友達は私のために、残って教えてくれたり、私の体調に合わせてサポートしてくれました。こんなにも、優しく親切な人に囲まれていたことに、元気だった

時には気づきませんでした。

私も、困っている人や、苦しんでいる人がいたら、少しでも軽くしてあげられるようにしたいです。優しい気持ちや、親切な気持ちは、相手の心や体を元気にすることができると、思いました。